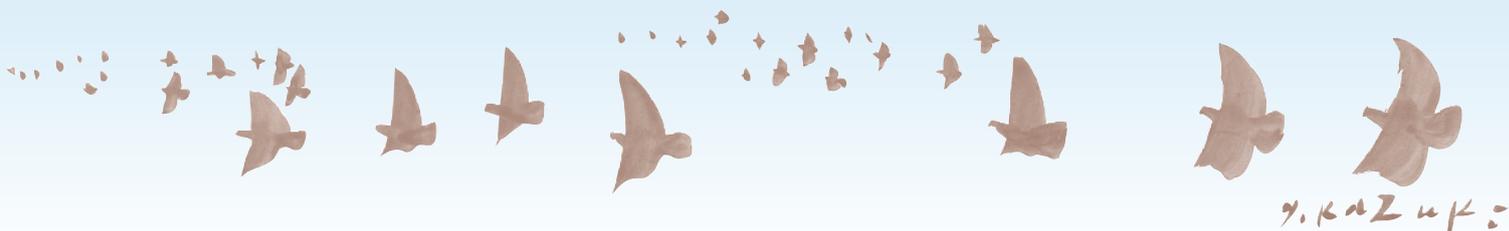


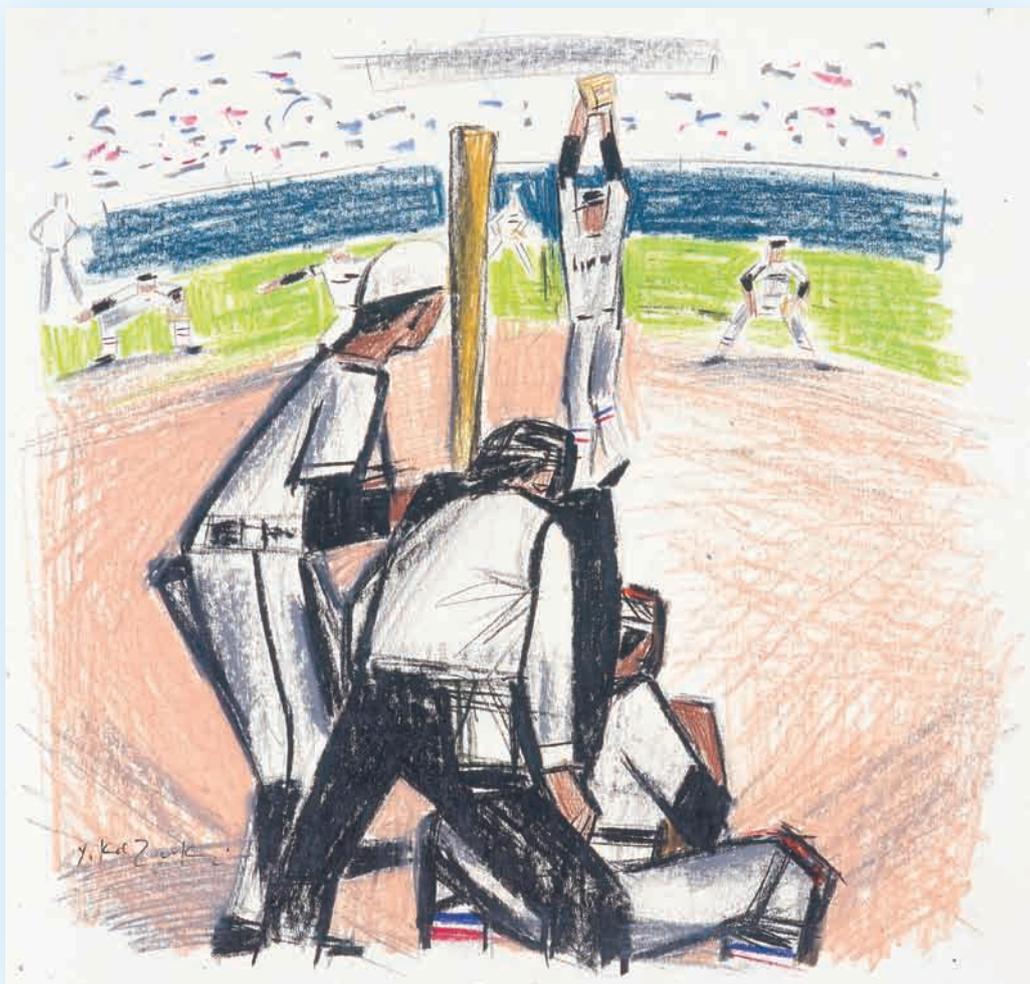
ながと

6月定例 No.20

平成22年(2010年)8月1日発行



Y. KAZUKI



主な内容

議会だより

| | |
|-----------------------------|--------|
| 6月定例会 民間→直営で ほか | 2 ページ |
| 国体を通じての観光対策は ほか(一般質問) | 4 ページ |
| 第1回臨時会 | 9 ページ |
| 経済建設常任委員会行政視察レポート | 10 ページ |
| 文教厚生常任委員会の意見交換会 ほか | 11 ページ |

長門市議会 6月定例会

平成22年6月定例会は、6月11日に開会し、30日までの会期中に、執行部提案の議案13件、報告4件を審議しました。定例会では、歳入、歳出予算にそれぞれ2千875万7千円を追加した一般会計補正予算、条例一部改正案などを常任委員会に付託し、すべての議案を可決し、閉会しました。



給食センター配送車両（油谷地区）

9月に供用開始の新学校給食センターの配送業務予算は、今年3月に、民間委託費として1千470万円を計上し、議会でもこの予算を可決していました。

文教厚生常任委員会

方針変更で 議論紛糾

後日、開かれた委員会では、副市長、教育部長から謝罪があり、民間委託から直営に至った経緯について、①第2次長門市経営改革プランで行政運営の効率化、民間活力の推進の観点から、業務の民間委託が当然との認識を進めていたこと。②

事務事業の検証

「民間委託から直営に至った経緯について説明を」との質疑ができました。しかし、執行部からは、正確な計算根拠が示されず、審議できない状況となり、日を改めて審査することになりました。

9月稼働

民

間



直

営

で

新給食センター—配送業務の経費削減

人権擁護委員

森田 妙子

昭和20年12月3日生

昭和43年4月から平成18年3月まで
山口県公立小・中学校教員として勤務。

報告第4号

財団法人長門市文化振興財団 の経営状況について

ルネッサながとを運営する長門市文化振興財団は、今年度末で指定管理期間が満了します。新たな指定管理者を選定しますが、市財政が厳しいことから、文化事業のあり方を含め指定管理料の算定基礎を見直し、新たな指定管理料を減額する方向で検討を進めるとのことです。

民間委託と直営方式との比較検証が不十分であったこと。③子供たちには、より安心、安全な給食の提供を考えると、配送業務は、緊急時対応が万全でなければならぬ。民間では、責任の所在が不明確になりはしないか、などの理由で民間委託から直営に方針転換をしたとの説明でした。

執行部からは、業務内容、果たすべき目的を検証し、必ずしもコストだけで判断せず、安定的な業務遂行、責任の所在など総合的な判断を市民サービスの目線に立って判断することとした。

温泉ポンプ 増設

経済建設常任委員会

長門市湯本温泉事業特別会計補正予算では、湯本温泉の泉源ポンプを1台増設しようとするものです。これはポンプが昼夜フル稼働して、揚力が低下するため、故障による各旅館への温泉の供給停止が危惧されるため、ポンプ1台を増設し、交互運用により非常事態に備えようというものです。

委員からは、「多額の設備投資をしてきたが、どのような効果があったのか」との問いに、加熱配湯方式から源泉配湯方式に変え使用量が伸びているが、残念ながら客数は統計上増えていないとのことでした。

災害時の 対応は万全

総務常任委員会

「長門市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正」では、現在、消防団員の定数は1千197人ですが、人口の減少や高齢化などの理由で団員が減少しています。このため条例定数を、国が示す「消防力の整備指針」及び実数を踏えて1千70人に改正するものです。

委員からは、「災害時の対応は、大丈夫なのか」との問いに、執行部からは、災害発生時に、各方面隊に出動区分が定められており、原則2部隊以上の出動体制をとっている。また、大規模災害については、他の地域からの応援体制が確立されているので対応は万全であるとの答弁でした。



観閲行進（出初式）

一般質問

国体を通じての観光対策は



三輪 徹議員

周遊滞在型の観光メニューをつくる

問 市は、国体を通じて観光対策にどのように取り組むのか。

答 山口県全体として、延べ17万人の方々が、県内に宿泊されると予想されており、長門市の魅力在全国に発信できる絶好のチャンスである。この国体を契機に、多くの方々に本市のすばらしさをアピールし、観光活性化につながるような地域の特色を生かした周遊滞在型の観光メニューをつくり上げる。

問 高速道路のETC割引が観光振興に十分に結びついていないが、どのように克服するのか。

答 ETC割引の効果を出すには、萩や美祢などの周辺地域や小郡萩道路を利用した広域連携で効果を取り込むことを考えたい。



彦山温泉街

問 買い物難民について市としてどのような対策を講じるのか。

答 市ではコミュニティバスや乗合タクシーの運行、家用有償旅客運送などがある。社協では、住民参加型在宅福祉有償サービスがあり、こうした制度も有効に活用する。

認定子ども園について

考えてはどうか



岡崎 巧議員

努力していきたい

問 日置や油谷地区には公立の保育園しかないが、両園とも定員を下回っている。日置・油谷地区について、保育園に比べ入園要件が緩和された認定子ども園について考えてはどうか。

答 認定子ども園について勉強し、幼稚園がある地区と保育園しかない地区で子育てに差異が生じることがないように努力する。

問 長門市における少子化の課題に対しどのように取り組んでいくのか。

答 子供を安心・安全に産み育てる環境づくりを行政や地域が一体となり、少子化の諸課題に取り組んでいきたい。

問 市で男女の出会いを応援する「出会いの場」の取り組みを考えてはどうか。

答 地域の未婚者、晩婚者の情報を交換し、カップルの誕生を手伝えるようなシステムをできるだけ早く立ち上げたい。



保育園児（菱海保育園）

一般質問

産業活性化プロジェクトは

年内に構想をまとめ、23年度から順次事業展開



新谷 勇議員

問 3大プロジェクト具体化のための手順はどうなっているか。

答 産業振興プロジェクトの推進にあたっては、農林課と商工水産課に流通企画室を設置し、1次産業振興の推進体制を整えるとともに、積極的に観光振興に取り組み姿勢を明確にするため、観光課を独立させた。

問 市長の任期中にどの程度実施される予定か。

答 水産業活性化プロジェクトについては、加工場、冷凍保管庫の整備に係る水産物販路拡大推進計画を年内を目途に策定する。

農業活性化プロジェクトは農産物直売所の整備に係る基本構想を年内にまとめ、平成23年度以降、私の任期中に整備したい。また、観光活性

化プロジェクトは観光事業の再構築に係る基本計画を年内には策定・公表し、ステップを踏みながら、順次積極的に事業展開を図っていききたい。



観光振興の重責をになう観光課

発達障害者支援に

市は抜本的対策を



田村 哲郎議員

支援体制の整備は、最重要課題

問 現行の「長門市障害者福祉プラン」には発達障害者支援は皆無に近い。2年後の改定に向けどう取り組むのか。

答 発達障害者支援体制の整備はこれからの障害者福祉の重要な課題であると認識している。

問 発達障害者支援の「一丁目一番地」の課題をどう捉えているか。

答 発達障害の理解を進めることが重要であり、まずは啓発活動を強化したい。

問 障害者の「就労支援」について、宇部市の「ワークステーション」をどう評価しているか。

答 宇部市長に状況等について詳しく教えて頂き、勉強してみたい。

その他の質問

問 「休日夜間救急診療所(仮)」の運営に当たっては、「市立診療所」として市が全面的な責任を負うべきではないか。

答 市が責任を持って支援していく。



宇部市のワークステーション

一般質問

口蹄疫の防疫対策は十分か



三村 建治議員

発生防止に最大の努力を払う

問

4月に宮崎県において口蹄疫が発生したが、一般市民を含めた市としての対策についてどのように取り組まれているか。

答

長門市口蹄疫対策連絡会議を設置し、口蹄疫の発生防止に全力を挙げるとともに情報の共有化など、緊急事態に備える体制の整備を行った。当面は消毒薬を畜産農家に配布して消毒をお願いしている。口蹄疫は畜産農家だけでなく地域経済にも大きな打撃を与え、市民生活への影響が大きいことから防疫対策に万全を期す。

その他の質問

問

市道の維持管理対策は十分か。

答

道路の現状把握は定期的に行っている道路パトロールや、一



長ぐつを消毒する畜産農家

※陰切とは、道路上部にはみ出した樹木等を伐採すること。

問

般市民からの通報により情報を得て簡易なものは職員で対応している。
木の所有者に何らかのメツセージを出すべきではないか。

答

今後考えてまいりたい。

視覚障害者へのバリアフリー対策は



先野 正宏議員

情報のバリアフリー化を進めたい

問

国内で約30万人以上いる視覚障害者は、糖尿病などの病気を原因とする中途失明者の方々が圧倒的に多く、87%以上が点字を読めない実態にある。市として視覚障害者へのバリアフリーのために、音声コードを活用した活字読み上げ装置を導入してはどうか。

答

誰もが住みなれた家庭や地域で安心して暮らすことができるまちづくりを目指し、活字読み上げ装置の導入について、情報のバリアフリー化推進の観点から検討を進めたい。

※音声コードは約800文字の情報を記憶できる正方形のバーコードで、専用の活字読み上げコードを使えば、文字情報の内容が音声で読み上げられ、視覚障害者は耳でその内容を知ることが出来る。



QRコード

音声コード

音声コード

問

地域活性化の方策としてどのような観光施策等を考えているのか。

答

市民参加により、本市の観光の活性化に取り組んでいく。

その他の質問

一般質問

豪雨災害の教訓は

生かされているのか



重村 法弘議員

危機対応体制の強化を図っている

問 本市の防災安全対策に、昨年7月の豪雨災害の教訓はどのように生かされているのか。

答 各支所におけるの権限と機能強化、情報伝達手段の拡大などの問題点が検証され、県からの指導も受け避難勧告等の判断基準を明確化し、支所等の職員でも勧告等を行えることとした。

問 危機管理意識の職員全体への共有についてはどう考えているのか。

答 職員防災マニュアルを配布し、体制の配備基準、連絡体制の周知徹底を指示している。また、災害を経験したことのない職員も多く、危機管理セミナー研修に昨年以上の職員を参加をさせるなど、対応能力の向上に努めている。

その他の質問

問 5千人規模のマラソン大会や野球場建設の実現はどうか。

答 マラソンに限らず市民の意見を聞きながら、努力する。また、野球場建設については県立水産高校野球場のさらなる整備をしたい。



大雨による河川の増水（湯本地区）

今、なぜ市民協働が必要なのか



山根 勇治議員

地域が元気になるため

問 今、なぜ市民協働が必要なのか。

答 限られた財源による市政運営は、行政と市民が連携をし、それぞれの役割分担の中で住みやすい、元気なまちにするため。

問 市民協働に対する理解をどう進めるのか。

答 市民も職員も、まずは「協働」という言葉を理解し、周知していくことである。

問 市民協働条例は、地域振興策も想定しているのか。

答 現時点では、条例であるとか具体的な中身は考えていない。

その他の質問

問 災害ボランティアをどう育成するのか。

答 災害ボランティアセンターの開設を行う社協と連携をとることが大事と考えている。



市民協働に対する答申（地域審議会）

一般質問

ダムに頼らない水源対策を
考える時期ではないか



林 哲也議員

水源対策についても考えていく

問

国土交通省は国の補助を受けて事業を進める道府県の補助ダムに対し、本体工事に着手していない事業等については凍結を含めた見直しを検討している。

また、長門市行政改革懇話会でもダム建設事業の見直しが提言されているが、この提言を一つの見識として重く受けとめているのか。ダムに頼らない水源対策を模索する時期に来ているのではないか。

答

懇話会からの提言は重く受けとめており、国や県の動向を踏まえながら、水源対策についても考えていく。

問

協働のまちづくりは市民と行政が対等平等の関係になることだが、制度的に保障するため、条例制定すべきではないか。

答

各地域審議会の議論の結果を踏まえて決めたい。



大河内川ダムの建設現場

その他の質問

問

市長は中小零細企業の経営環境の厳しさを言われるが、その認識は行政組織のなかで共有されているのか。

答

私の思いを職員に徹底し、産業対策を考えていく。

村田清風翁をNHK大河ドラマに



阿波 昌子議員

今日から大河ドラマ元年にしたい

問

本市の観光をPRする上で、長州藩政末期活躍された、村田清風翁をNHK大河ドラマに取上げてもらうような運動を起こしてみてもどうか。

答

大河ドラマとなれば、地域観光の大きなカンフル剤になるし、経済効果は計り知れないと思う。今日から大河ドラマ元年にする。

問

本市の観光政策で、広域連携についてはどのような取り組みがされているのか。

答

観光の広域連携は重要で、現在下関市、美祢市と連携している。チケット販売のパンフレット作成において一緒にPRしている。また萩市とは情報発信を一緒に取り組んでいる。

問

本年度から観光課が設置されたが、観光協会と行政

の関わりはどのように考えているのか。

答

観光協会は、本市観光関係団体、事業者をリードする重要な役割を担う組織であり、組織体制の更なる充実、強化が求められている。本市としても協会との連携を一層強化し、一枚岩となった観光振興に全力で取り組んでいく。



村田清風翁

市長陳謝

臨時議会の冒頭、税の納付書の誤発送について、議員や市民に対し、市長から陳謝がありました。
(陳謝の要旨は、以下のとおりです。)

平成22年度の固定資産税の納税通知書を平成22年4月30日付で発送しました。この納税通知書には、課税の内訳を示す課税明細書を添付していたが、納税通知書のあて先である納税義務者とは異なる者の課税明細書を添付し、発送しました。

約1万9千通の発送件数のうち、油谷地区の2つの行政区で合わせて22件、課税明細書が異なっていました。税に係る個人情報を出してしまい、大変遺憾な出来事です。誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。



税務課

第1回

臨時議会

第1回臨時議会は5月7日に開かれ、提案された議案第1号から7号・報告第1号を賛成多数で可決しました。

「国民健康保険条例の一部改正」

国民健康保険法施行令の改正が本年3月31日公布され、4月1日から施行されました。

改正内容は、医療に係る国民健康保険料の賦課限度額を3万円引き上げ50万円に、後期高齢者支援金等賦課限度額を1万円引き上げ13万円に、それぞれ改定するものです。

また、非自発的失業者の保険料を前年給与所得の3割として計算し、失業者の保険料軽減を図り、過重な負担を防ぐものです。

「長門市税条例及び長門市都市計画税条例の一部改正」

地方税法の改正の主な内容は、個人住民税で

は、子ども手当の創設に伴い、平成24年度から扶養親族のうち年齢16歳未満の者に対する扶養控除を廃止すること。

市たばこ税では、平成22年10月1日以降、1千本につき1千320円引き上げることに、また旧3級品の紙巻たばこに係る市たばこ税の税率について、平成22年10月1日以降、1千本につき626円引き上げること。



固定資産税では、税負担軽減措置の見直しに伴うもので、新築住宅及び長期優良住宅に係る固定資産税の軽減措置について2年間、高齢者向け優良賃貸住宅に係る固定資産税の軽減措置について1年間、バリアフリー改修及び省エネ改修を行った住宅に係る固定資産税の軽減措置について3年間、適用期限を延長するものです。

..... 議員表彰

全国市議会議長会表彰 中国市議会議長会表彰 山口県市議会議長会表彰

- 議員 15年以上
 - 田村 哲郎 議員
 - 新谷 勇 議員
- 議員 10年以上
 - 谷川 雅之 議員
 - 三輪 徹 議員



- 特別表彰
 - 議員 16年以上
 - 今津 一正 議員
 - 議員 12年以上
 - 岡野 正基 議員
- 普通表彰
 - 議員 8年以上
 - 阿波 昌子 議員
 - 大下 和政 議員
 - 岡崎 巧 議員

- 特別表彰
 - 議員 12年以上
 - 岡野 正基 議員
- 普通表彰
 - 議員 8年以上
 - 大下 和政 議員

合併以前の町村議会議員の在職期間は2分の1として通算。但し、3年以上市議会議員としての在職期間が必要です。

行政視察 レポート

経済建設常任委員会（委員長武田新二、重村法弘、大下和政、金崎修三、谷川雅之、長尾実、新谷勇）では、5月25日から28日の4日間で、本市の基幹産業である水産業と重要政策課題である観光業について行政視察を行いました。

海を取戻せ！ 住民の願い

まず、私達が視察を行ったのが北海道えりも町の視察です。
えりも岬は明治以降原生林の伐採、家畜の無計画な放牧などにより、広葉樹の広がる半島大地は砂漠化が進むと共に、その赤土は沿岸海域10キロ沖まで流れ込み海の砂漠化をも引き起こしました。海藻類は根腐れをお

こし、さらに、回遊魚は激減、地域経済の主力を担う漁業は大打撃を受けました。そんな状況を脱するため住民自らが立ち上がり岬の緑化事業をスタートさせました。事業は岬特有の強風によって困難を極めました。が地域住民の熱い思いと行政が一体となることにより現在では植林されたことを感じさせないみごとな森と緑を形成しています。

海は社会の共通資源

劇的な回復をみせた海には回遊魚が戻り、名産こんぶも取れるようになりました。現在では、海は社会の共通資源と考え清掃活動は勿論、稚魚栽培センターでは地域が必要素とする種魚を盛んに生産育成し、町の基幹産業を官民一体となり支え大切にされています。

中心市街地の再生

観光振興において、大変関心を抱かせたのが富良野市の中心市街地の整備事業です。

『北海道のへそ』とも呼ばれているこの町の基幹産業は農業と観光です。

活力を失いつつある中心市街地を今一度活性化させるため『市民が楽しむ空間・まちの情報発信の拠点・おもてなしの拠点』となる『まちの緑側』を基本コンセプトとした商業施設整備事業（道の駅の施設）が進められ、今年4月にオープンしています。

住民参加の 施設整備事業

この整備事業の特筆すべき点は、設計段階から市民が主役で策定に参加し『ふらのまちづくり株式会社』が事業主体で建設、オープン後の運営もしている点です。

建設に至るには会社の増資が必要で、地元の金融機関、民間会社等にも出資協力を依頼されています。そのようなことから市民の会社、市民が運営している商業施設として認知され、オープン後も行政に頼らずに順調な経営がなされています。施設内は平日にもかかわらず、大勢の市民と観光客



富良野市役所で研修

で賑わっており、多くの苦勞を乗り越えてたどり着いた自信と希望にあふれる地域振興の姿を見ることができました。

生かせ、本市の プロジェクトを

本市も今年3つの産業振興プロジェクト計画の策定が行われます。特に農産物直販施設建設計画策定にあたっては策定段階から市民が参加し、市民みんなの施設となるよう進めなければなりません。私たち議員も今回の行政視察が生かされるよう、執行部に働きかけていきたいと思っています。



稚魚栽培センターを視察（えりも町）

長門市議会では、議会改革の一環として各常任委員会（総務・文教厚生・経済建設）の政策課題を中心に、各常任委員会と各種団体やグループ、市民の方々とひざを交えて率直な「意見交換」を行いたいと考えています。市民皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

委員会が

おじやまします

意見交換会報告



油谷地区社協との意見交換

油谷地区社協と

懇談しました

文教厚生常任委員会は、4月20日（火）油谷保健福祉センターにおいて、油谷地区社協の担当者との懇談会を開きました。

安心生活創造事業とは：

ひとり暮らし高齢者、障がいを持つ方などが「安心して暮らせる地域づくり」の一つとして、厚生労働省のモデル事業「安心生活創造事業」があります。

市は、この事業を社会福祉協議会に委託しています。対象地域は油谷の宇津賀・向津具地区で、両地区の高齢化率（地区人口に占める65歳以上の割合）は47・5%と高くなっています。

見守りと買い物支援

懇談会では社協油谷支部管理者、同安心生活創造事業チーフ、同主任巡回訪問員の方々が出席し、活発な意見交換を行いました。

基本的な事業内容は、「早期発見、安否確認、変化の察知など」の見守り、「買物代行、宅配の活用、移動販売など」の買い物支援です。

社協担当者は、「最終的には、当事者同士の助け合いが自然に行われることが願い。そのために、住民の助け合い活動を積極的にコーディネートするのが私たちの務めです」と言われました。

油谷地区社協の地道で真剣な努力が実を結び、住みよい地域づくりが実現するため私達も共に努力します。

海外栽培 漁業センターを訪問

経済建設常任委員会は、6月22日に（社）山口県栽培漁業公社の海外栽培漁業センター（長門市通）を視察しました。

公社・センターの沿革

公社は昭和37年に（社）山口県漁村振興協議会として設立後、平成元年に名称を今の社団法人山口県栽培漁業公社と変更。平成5年県から内海、外海、外海第二の3栽培漁業センターの業務及びび管理を受託し、種苗生産業務を開始しています。

長門市漁業の活性化を：

さらに、平成18年から、種苗生産等事業について山口県から指定管理者の指定を受けています。また長門市にある外海栽培漁業センターは昭和51年に設立されています。

長門の外海栽培漁業センターの主な業務としては、マダイ、キジハタの種苗生産、放流を行っています。長門にある外海栽培漁業センターも今後は種苗生産する魚種を増やして、長門市周辺の漁業にとって、なくてはならないセンターになることを期待しています。



海外栽培漁業センター

長門市議会9月定例会審議日程予定

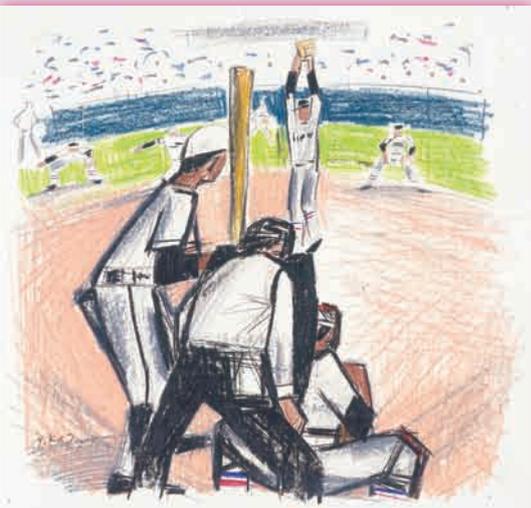
長門市議会の9月定例会は次のように会期22日間で予定しています。正式な日程は8月30日に開催予定の議会運営委員会で決定されます。

市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。



| 日程 | 開始時間 | | 内容 |
|----------|-------|-----------|--|
| 9月3日(金) | 9時30分 | 本会議 | 開会(議会初日) 議案の提案説明 |
| 9月6日(月) | 9時30分 | 本会議 | 一般質問 |
| 9月7日(火) | 9時30分 | 本会議 | 一般質問 |
| 9月8日(水) | 9時30分 | 本会議 | 一般質問 |
| 9月9日(木) | 9時30分 | 本会議 | 議案質疑・委員会付託 一部討論・採決 |
| 9月13日(月) | 9時30分 | 経済建設常任委員会 | 付託議案の審査 |
| 9月14日(火) | 9時30分 | 総務常任委員会 | 付託議案の審査 |
| 9月15日(水) | 9時30分 | 文教厚生常任委員会 | 付託議案の審査 |
| 9月24日(金) | 9時30分 | 本会議 | 委員長報告 委員長報告に対する質疑 委員会付託議案の討論・採決 閉会(議会最終日) |

今日の表紙



高校野球(1) 1970年

真夏の風物詩、高校野球の一場面がクレーンで力強く描かれています。これまでの表紙では、ふるさと三隅の自然をモチーフにした作品を多く取り上げてきましたが、香月画伯はそのほかにも、多彩な題材を描いているのです。

投球動作に入った投手、その動きを見据える打者と捕手、白球の行方を見逃すまいと構える野手たち。画面には、投球直前の一瞬の緊張感がみなぎっています。

香月泰男美術館

後編 編集 記集

NHKの「龍馬伝」、福山雅治さんの龍馬は「本物以上」と思わせる熱演です。その坂本龍馬の歴史的業績として「船中八策」は大政奉還以後の政治体制を示したものとして重要です。その第二策には「上下議政局を設け、議員を置きて・・・公議に決すべきこと」とあり、龍馬が西欧型議会制度導入を日本史上初めて唱えたものと言われています。

船中八策は慶応3(1867)年6月、龍馬が長崎から大阪へ向かう船中で記述したものです。143年後の今日、私達は龍馬が熱望した「議会制民主主義」を十分機能させているでしょうか。それを自省しつつ、信頼される議会に向け努力したいと思えます。

(田村)



議会だより 特別委員会

- 委員長 林 哲也
- 副委員長 三村 建治
- 委員 田村 哲郎
- 委員 大野 博輝
- 委員 先野 正宏
- 委員 重村 法弘